

2026年度 研究室配属について

●研究室見学について

本研究室への配属を希望し、研究室を訪問したい学生は随時対応（平日のみ）しますので、事前にメール連絡をしてください。メールには以下の内容を含んでください。

- 氏名・学生番号
- 何名での訪問か
- 訪問希望（可能）日時（訪問できる日を数日分記載）

※皆さんからのメールには、必ず返信をしています。数日経っても小田からの返信がない場合は、皆さんのメール（特に携帯メール）の設定で着信拒否になっている場合がほとんどですので、「自分のメールの設定を確認する」「電話連絡を試してみる」など、各自で対応を検討してください。

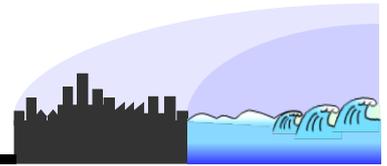
●履修科目について

小田研を希望する学生は、必修科目の他、下記選択科目を履修しておくことが望ましいです。卒業研究の実施に際しては、研究内容に深く関連する学部講義科目の内容を理解していることが必要となります。

- 大気環境学（6S）
- 沿岸環境学（6S）
- 地理情報システム（4S）※卒研でQGISを使用することがあります

●研究室紹介 PDF

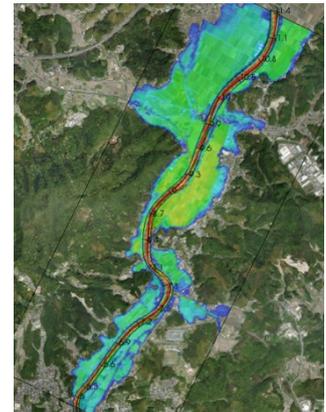
次ページに「研究室紹介」を示します。小田研のHP 内容と合わせ、目を通しておいてください。



担当教員： 小田僚子 教授
連絡先： 津田沼校舎 1号館 7階 705, 706号室
E-mail： ryoko.oda@chibatech.ac.jp
TEL： 047-478-0408
URL： <https://cit-cee.jp/oda/index.html>

研究内容：都市気象，沿岸気象，水工水理学

都市域では、豪雨による水害や都市化による暑熱環境の悪化といった都市特有の環境問題が顕在化しています。また、都市の多くは沿岸域に立地していることから、河川氾濫や津波などの自然災害リスクが高いです。これらの現状を適切に診断するための研究を、現地観測データに基づく解析や数値シミュレーションにより、気象学・水文学・土木工学といった視点で学際的に取り組んでいきます。



浚渫による河川氾濫リスク低減効果の検討

◎ 研究室活動

3年生後期に研究室配属がされたのち、院生や4年生が発表する研究室ゼミに数回参加してもらう予定です。4年生になると研究室ゼミ（週1回）で、自身の卒業研究の進捗について発表してもらいます。その他、研究内容については適宜個別に相談・打合せを行っていきます。

ゼミ：各自の研究課題の進捗状況や成果を発表し、その内容について議論します。これにより研究の意義・方向性・問題点などを明確にすると共に、プレゼンテーション能力を養います。



津田沼キャンパス内の点群データ
(樹木による暑熱環境緩和効果の検討)

◎ 研究室訪問

訪問日時を調整するため、必ず事前にメール連絡をしてください。また、事前に研究室HPを見ておいてください。

◎ その他

- ✓ 研究活動を遂行する上で、自主性・協調性は重要な要素です。物事を要領良くこなすこと（≠テキトー）は大事ですが、真面目な人が損をしないような評価をしていきたいと思えます。
- ✓ 他大学や他機関とも共同して最先端の研究に取り組んでいます。

<最近の研究テーマの例>

- 地上デジタル放送波を用いた都市域の水蒸気変動量の推定
- マイクロ波放射計による降雨前の可降水量と水蒸気鉛直プロファイルの特徴
- メソ気象モデル WRF を用いた首都圏の気象場解析
- 気象観測と数値放射モデル SOLWEIG による都市街区内の熱ストレス評価
- 植生が街区内の風系場および暑熱環境緩和に及ぼす影響評価
- ひまわり8号輝度温度情報に基づく関東広域の熱環境評価
- 河道工事による河川氾濫リスク低減効果の検討
- 津波による沿岸域の浸水被害リスクの検討

研究課題は、各自の希望をヒアリングした上で決定したいと思います。研究活動を通して、単なる興味から知識へ、そして未解明の現象解明に取り組むアプローチ手法を身につけていきます。